

冗談を交えながら 語ることの必要性 ～『為せば成る 為さねばならぬ』～

2026 年 2 月 10 日 新渡戸稲造記念センター(中野駅)に寄り、第 133 回『がん哲学外来メデイカル・カフェ@よどばし』(淀橋教会に於いて)(大久保駅)に赴いた。今年は 12 周年である。継続の大切さを痛感する。恒例の『365 日の紙飛行機』の熱唱で始まった。今回、初参加の方も複数居られた。

筆者は、20 年以上前に知った宝塚音楽学校の舞台裏に貼られている『ブスの 25 箇条』(画像)と、若き日、故郷(鶴峠)に居た時、出雲大社の土産店で見つけた『つもり違い 10 ヲ条』(画像)をさりげなく語った。大爆笑である。

【『ブスの 25 箇条』のような人間には ならないように】と、冗談を交えながら 語ることの必要性を 実感する 今日この頃である。今回、1)『笑顔が無い』 6)『ぐちをこぼす』 11)『何でもないことに傷つく』 12)『他人に嫉妬する』 17)『悲観的に物事を考える』 19)『他人につくさない』 25)『存在自体が周囲を暗くする』」を強調した。また、【人生の『つもり違い 10 ヲ条』を『高らかに語る人物になれ!』】と話した。

いろいろな 繋がりが生まれる『がん哲学外来メデイカル・カフェ@よどばし』は、大変有意義な時である。筆者が、2007 年から東久留米で毎月行っている読書会に用いる内村鑑三(1861-1930)著『代表的日本人』に 取り上げられている上杉鷹山(1751-1822)の『為せば成る 為さねばならぬ 何事も為らぬは 人の為さぬ成りけり』が、今回は、鮮明に蘇ってきた。

人生の『人生の心構えについて』(画像)も語った。今回、50 歳代、60 歳代、70 歳代の参加者が複数おられたので、下記を強調した。

- ◎ 50 歳代 “積極的に周りの人の面倒をみる”
- ◎ 60 歳代 “自分のことしか考えていなかったら恥と思え”
- ◎ 70 歳代 “自分のことを語る”

会場から、質問も頂いた。 定例の『糸』を合唱して終えた。

終了後で、今度(2 月 28 日)お茶の水で、朗読劇(画像)を企画されている水澤心吾氏、山本みどり氏、並木秀夫氏と喫茶店で会談した。大変、充実した貴重な一日となった。

清く正しく美しく

「ブスの 25 箇条」

宝塚音楽学校の舞台裏に貼られていた有名な言葉

樋野興夫先生より

1. 笑顔がない
2. お礼を言わない
3. おいしいと言わない
4. 精気がない
5. 自信がない
6. グチをこぼす
7. 希望や信念がない
8. いつも周囲が悪いと思っている
9. 自分がブスであることを知らない
10. 声が小さくいじけている
11. 何でもないことにキズつく
12. 他人にシットする
13. 目が輝いていない
14. いつも口がへ字の形をしている
15. 責任転嫁がうまい
16. 他人をうらむ
17. 悲観的に物事を考える
18. 問題意識を持っていない
19. 他人につくさない
20. 他人を信じない
21. 人生においても仕事においても意欲がない
22. 謙虚さがなくゴウマンである
23. 人のアドバイスや忠告を受け入れない
24. 自分が最も正しいと信じている
25. 存在自体が周囲を暗くする



しおり違い十ヶ条

- | | | | | | | | | | |
|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 十 | 九 | 八 | 七 | 六 | 五 | 四 | 三 | 二 | 一 |
| 少ないつもりで多いのが無駄 | 多いつもりで少ないのが分別 | 弱いつもりで強いのが自我 | 強いつもりで弱いのが根性 | 薄いつもりで厚いのが面の皮 | 厚いつもりで薄いのが人情 | 浅いつもりで深いのが欲望 | 深いつもりで浅いのが知識 | 低いつもりで高いのが気位 | 高いつもりで低いのが教養 |

「人生の心構えについて」

◦0歳から10歳

“愛情豊かな動物&老人に育てられた子供は大成する”

◦20歳代&30歳代

“人に言われたことを黙々とがむしゃらにやる”

◦40歳代

“自分のやりたいことや好きなことに専念する”

◦50歳代

“積極的に周りの人の面倒をみる”

◦60歳代

“自分のことしか考えていなかったら恥と反省”

◦70歳代

“自分のことを語る”

◦80歳代

“自分の人生をプレゼントする”

◦90歳代

“天寿を全うする”

◦100歳

“天国でカフェを開く”

布花と朗読劇

脚本:さらだたまこ

稲造とメリー

2月28日(土)
~太平洋の愛の架け橋~ 15:00開演(14:30開場)

世界平和のために奔走した新渡戸稲造とその妻・メリー。
どんな苦境に遭っても
夫婦の絆が、愛の架け橋となって
未来への扉を開く…



山本みどり

TBSボーラテレビ小説「夫婦ようそろ」で主演デビュー。
「水戸黄門」シリーズや朗読劇「殺しのリハーサル」など舞台やテレビドラマを中心に活躍。



水澤心吾

1977年「天守物語」より、本格的に俳優の道を進む。以後、テレビドラマ、映画、舞台を中心に活躍。ライフワークとして一人芝居「決断のびざり稲造物語」を全国で公演中。

第2部『新渡戸稲造を語る』 16:15~16:45



樋野 隆夫

順天堂大学名誉教授
新渡戸稲造記念センター長
一般社団法人「がん哲学外来」
名誉理事長として、患者と家族の心に寄り添う対話の場を、全国で広める活動を行っている。
新渡戸稲造に関する著作の執筆や講演活動も行う。



◆会場 お茶の水クリスチャンセンター
8階ホール (03-3296-1001)

◆活動募金あり

ヴィジョン企画 TEL 070-6962-4141 メール misawa.shingo@gmail.com